

2年生が学校の中心へ(生徒会役員が決定しました)

10月6日(木)に、令和4年度生徒会本部役員選挙が行われました。同時に、各専門部の部長・副部長も決定し文字通り2年生が学校の中心として活動することとなります。

今年の立会演説会で多くの立候補者が共通して述べており、特徴的なことがありました。それは、「他学年との交流」「先輩・後輩という学年をこえて」「他学年のことを知らない」といった学年間のつながりに関することです。理由を考えた時、コロナの影響によって行事等が削減され交流が減ったためかとも思いました。しかし、3年生生徒会が取り組んでくれた「じゃんけん大会」などの企画が、強いインパクトとして後輩に感じられたからではないでしょうか。

今後、生徒会役員皆さんのを中心に、神河中学校全体が失敗を恐れず新たなチャレンジを続け、学校教育目標である「明るく楽しく 伸び伸びと」が体現されることを期待しています。

本部役員	生徒会長		藤原 朱希		生徒会副会長		宮崎 桜良、大中隆太郎		
	執行委員		松島 未来		執行委員		足立 瑚花		
専門部役員		代議	風紀	図書	文化	美化	体育	保健	ボランティア
	部長	藤原 陸人	岸口 詩帆	藤原あかり	辻井鳳太郎	草壁 莓香	長谷川真理	加門 友花	岩澤璃子
	副部長	富田明佳里	高松 快琉	宮崎 葉名	高橋 陽太	坂本 菜緒	石橋 彩斗	竹内 愛衣	山名 心那

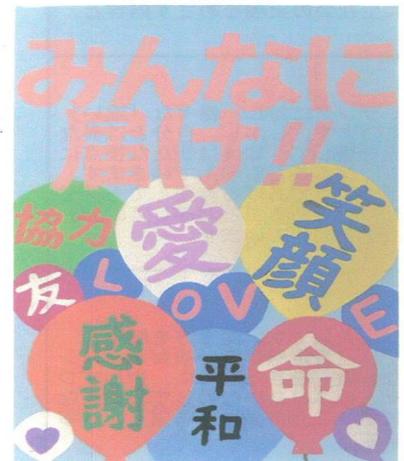
スポーツの秋・文化の秋

緑一色に覆われていた山の景色も、少しずつ紅葉の気配を感じる季節です。

学校では、放課後、新人戦等に向け部活動に励む生徒の声が聞こえます。一方、校舎内はシーンと静まり返ってはいるものの、進路に向け補充学習に励む3年生の姿がしっかりと教室にはあります。そして、授業中にも合唱コンクールに向けてピアノや歌声が聞こえるようになりました。自然の色や音の変化だけでなく、生徒の声や音からも季節の移り変わりが感じられ、豊かな気持ちになれるのもこの時期ならではの事です。

《最優秀賞》

- 11月7日(月) 創立記念日(休業日) 2011年4月にスタートしました。
- 11月9日(水) 西人教・神人教・町人協指定 人権教育実践発表会(保護者参観なし)
 - <公開授業> 13:15~14:05
 - 1年2組 総合的な学習 「ちがいのちがい」
 - 1年3組 道 徳 「人に迷惑をかけなければいいのか？」
 - 2年1組 道 徳 「一冊のノート」
 - 2年2組 英 語 「Universal Design」
 - 3年1組 道 徳 「虹の国-ネルソン・マンデラー」
 - 3年3組 国 語 「挨拶-原爆の写真によせて」
 - 谷垣学級 生活単元 「掃除名人になろう」
 - <講演会> 「自分らしく生きていくこと」 西原さつき さん



神河中学校2年 多田 里奈 さん

11月16日(水) 合唱コンクール

課題曲		君をのせて	課題曲		夢の世界を	課題曲		旅立ちの日に
1年1組	自由曲	地球星歌	2年1組	自由曲	あなたへ	3年1組	自由曲	旅立ちの時
1年2組		Believe	2年2組		HEIWAの鐘	3年2組		証
1年3組		キミのもとへ...	2年3組		地球の鼓動	3年3組		友~旅立ちの時~

11月14日(月)~18日(金) (9:00~12:30、13:00~15:00) オープンスクール

3年ぶりのオープンスクール期間を設定しました。保護者の皆様のご来校をお待ちしています。

土曜講座(3年生対象)についてのお知らせ

今年も3年生を対象に、「土曜講座」を行います。自分から進んで学習に取り組む人の参加を待っています。

- 場 所 旧パソコンルームを予定しています。
- 方 法 基本的には、自主学习です。
(自分でワークやドリルを持参します。)
- 申し込み 後日、申込用紙を配布します。必要事項を記入して、11月4日(金)までに担任へ提出してください。
- 日 時 現在の予定です。変更がある場合は生徒を通じてお知らせします。
以下の日の8:30~11:20
(50分×3 途中10分休憩2回)



11月・・・12日、19日、26日
 12月・・・17日
 1月・・・7日、14日、21日、28日
 2月・・・4日、11日、18日、25日
 3月・・・4日

10月14日(金)不審者対応訓練を実施しました。神河中学校では初めての試みです。
 校門は基本、生徒が学校で活動している時間帯は閉門しています。
 ご面倒ですが、来校された際、校門が閉まっている場合はインターホンを鳴らして要件を伝えてください。

OHS~オープンハイスクール

SC~スクールカウンセラー来校日

日	月	火	水	木	金	土
10月30日	31	11月1日	2	3	4	5
中播新人大会 バスケット 卓球団体	生徒朝礼 中播総体駅伝(名古屋山霊苑) 短縮授業	中高連絡文化講演会(3年生) 部活終了16:25 短縮授業	PTA役員会 短縮授業	文化の日 姫路商業OHS	琴丘国際文化科 OHS	野球部郡秋季 決勝大会~6日 ソフトボール 郡秋季大会
6	7	8	9	10	11	12
	創立記念日	生徒朝礼 ノ一部活 短縮授業	西人教・神人教・町人協指定人権教育 実践発表会 ノ一部活	3年生到達度テスト ふれあい作品展 ~ 16日 SC	短縮授業	土曜講座① 福崎高校総合科学 コース説明会 市飾磨高校健康福 祉コース説明会
13	14	15	16	17	18	19
家族の週間 ~26日 飾磨工業高校OHS	生徒朝礼 オープンスクール~ 18日 短縮授業	短縮授業	合唱コンクール ノ一部活	SC		土曜講座② 県駅伝大会(奥神 鍋周回コース) 神崎高校OHS
20	21	22	23	24	25	26
家族の日	生徒朝礼	3年生進路説明会 ⑤⑥校時(2年生保 護者参加も可)	勤労感謝の日	SC	ノ一部活 (期末考査5日前)	土曜講座③ ノ一部活
27	28	29	30	12月1日	2	3
ノ一部活	生徒朝礼 ノ一部活	ノ一部活	期末考査1日目 ノ一部活	期末考査2日目 SC ノ一部活	期末考査3日目	

21世紀に生きる君たちへ（司馬遼太郎）

（生徒朝会で紹介）

私は、歴史小説を書いてきた。もともと歴史が好きなのである。
両親を愛するようにして、歴史を愛している。
歴史とはなんでしょう、と聞かれるとき、
「それは、大きな世界です。
かって存在した何億という人生がそこにつめこまれている世界なのです。」
と、答えることにしている。

私には、幸い、この世にたくさんすばらしい友人がいる。
歴史のなかにもいる。そこには、この世では求めがたいほどにすばらしい人たちがいて、
私の日常を、はげましたり、なぐさめたりしてくれているのである。
だから、私は少なくとも2千年以上の時間の中を、生きていようなものだと思っている。
この楽しさは --- もし君たちさえそう望むなら --- おすそ分けしてあげたいほどである。

ただ、さびしく思うことがある。
私がついていなくて、君たちだけが持っている大きなものがある。
未来というものである。
私の人生は、すでに持ち時間が少ない。
例えば、二十一世紀というものを見ることができないにちがいない。

君たちは、ちがう。
二十一世紀をたっぶり見ることが出来るばかりか、そのかがやかしいにない手でもある。
もし、「未来」という街角で、私が君たちを呼び止めることができたなら、
どんなにいいだろう。
「田中くん、ちょっとうかがいますが、
あなたが今歩いている、二十一世紀とは、どんな世の中でしょう。」
そのように質問して、君たちに教えてもらいたいのだが、
ただ残念にも、その「未来」という街角には、私はもういない。
だから、君たちと話ができるのは、今のうちだということである。

私は、人という文字を見るとき、しばしば感動する。
ななめの画がたがいに支え合って、構成されているのである。
そのことでも分かるように、人間は、社会をつくって生きている。
社会とは、支え合う仕組みということである。
原始時代の社会は小さかった。
家族を中心とした社会だった。
それがしだいに大きな社会になり、
今は、国家と世界という社会をつくり、たがいに助け合いながら生きているのである。

自然物としての人間は、決して孤立して生きられるようにはつくられていない。

このため、助け合う、ということが、人間にとって、大きな道徳になっている。
助け合うという気持ちや行動のものは、いたわりという感情である。
他人の痛みを感じることも言ってもいい。
やさしさと言いかえてもいい。
「やさしさ」
「おもいやり」
「いたわり」
「他人の痛みを感じること」
みな似たような言葉である。

これらの言葉は、もともと一つの根から出ている。
根といっても、本能ではない。
だから、私たちは訓練をしてそれを身につけねばならない。
その訓練とは、簡単なことだ。
例えば、友達がころぶ。
ああ痛かったろうな、と感じる気持ちを、
そのつど自分でつくりあげていきさえすればよい。
この根っこの感情が、自己の中でしっかり根づいていけば、
他民族へのいたわりという気持ちもわき出てくる。
君たちさえ、そういう自己をつくっていけば、
二十一世紀は人類が仲良しで暮らせる時代になるにちがいない。

鎌倉時代の武士たちは、「たのもしさ」ということを、大切にしてきた。
人間は、いつの時代でもたのもしい人格をもたねばならない。
男女とも、たのもしくない人格に魅力を感じないのである。

もういちど繰り返そう。
さきに私は自己を確立せよ、と言った。
自分には厳しく、あいてにはやさしく、とも言った。
それらを訓練せよ、とも言った。
それらを訓練することで、自己が確立されていく。
そして、”たのもしい君たち”になっていく。
以上のことは、いつの時代になっても、
人間が生きていくうえで、欠かすことができない心がまえというものである。

君たち。
君たちはつねに晴れ上がった空のように、たかだかとした心を持たねばならない。
同時に、ずっしりとたくましい足どりで、大地をふみしめつつ歩かねばならない。
私は、君たちの心の中の最も美しいものを見続けながら、以上のことを書いた。
書き終わって、君たちの未来が、真夏の太陽のようにかがやいているように感じた。
(平成元年「小学校国語六年下」大阪書籍)